

シリーズ ヒトが人間になるための 進化の歴史

帯刀益夫（東北大学名誉教授）

第10回 人はどうして言葉を

話すことができるようになったか

これからしばらく、人はどうして言葉を話すことができるようになったかを説明します。言語は、人間の特性の中で最も高度であり、サルや他の動物と区別できる特性としての「認識、思考」の能力とも関係します。この思考や認識の多くの部分は、「言葉」を話すことができることと関係しています。

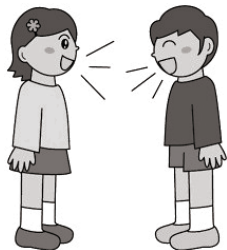
言葉は、最初是他者との交信という形で始まったと考え、ヒトとサルの先祖にもその交信の原型があったかもしれない、共通性とその分岐や進化の道筋が見えてくるはず。この言葉を話すという「言語機能」は、人間の全認知システムを構成する脳内に

実在する自律的システムとみなすことができます。

言語機能の基本となる「発声」という機能

発声機能」という観点からみると、化石記録から、現代人に近い三〇万年前の人類は、チンパンジーなどと違って、気管の先端に位置する喉頭が他の類人猿より低い位置になっていたことが分かっています。

これは、直立した姿勢をとることができるようになったために、咽喉の位置、舌の神経支配、洗練された呼吸の仕方など、人間が出すことができる音の範囲を増加させることができるようになったからです。



サルの解剖学的所見からは、音声学上からは、サルも会話ができる可能性があるように見えるのですが、サルは言語表現を使わず、凝視、口、顔の運動、手足のジェスチャーなどを使ってお互いの交信をするようになったのです。

ものを食べることで

言葉の関係

言語を生み出すための原始的な形は、生命維持に必須の「ものを食べる」という動作での、口、顔の運動、手足を連動させることと関係がありそうです。

人でもサルでも、手と口を使って食物を食べるとき、手と口の連動した行動をとりますが、ともに、手か口のどちらかで物をつかむとき反応するニューロンがあり、ミラーニューロンとよばれます。

読者の声
日頃感じていることなど読者の皆さまからの投稿を掲載します。

紙面の都合で詳しい説明は省きますが、ヒトとサルとが共通にもっている、食物をつかんで食べるという原始的で本能的で、しかし最も生物にとって必要不可欠の行動からスタートして、ヒトは「手動

安倍政権に聞きたいこと

憲法9条を変えることへの不安①自衛隊を戦地に送ることができるようになれば、アメリカの要請で危険な場所にも行かざるを得ないのでは？②自衛隊員になる人が減るのでは。そうしたら強制？③他国の理解できない戦争に参加することが日本の平和を守ることになるの？

戦争はイヤデスさん

先日、久しぶりに朝8時頃の大糸線に乗り、松本へ行きました。通学時間帯とあって高校生でいっぱい、しかし話をしている人はほとんどいません。手元はスマホ、耳にはイヤフォン、穂高、豊科、松本北と子供たちは降りて行きましたが、スマホ漬けの実態にびっくりしました。私も先日73歳でスマホデビューして悪戦苦闘の毎日ですが、スイスイ使えるようになったとしても、子どもたちのようにのめりこまないだろうと思います。が、使えるようになるかが問題です。

スマホに苦勞しているおばさん

「森友問題」の徹底解明を 野党は力を合わせて頑張つて！

国有地を8億円以上も値引、ただ同然で売却された「森友学園」問題は、1年以上に亘って真相が隠ぺいされてきました。

昨年2月、安倍首相は「国有地売却に私や妻の関与があれば、総理大臣も国会議員も辞める」と大見得を切ったことから、政府・財務省は「関連記録・資料はすべて破棄した」とし、野党が憲法の規定に基づき要求した、臨時国会の開催を6ヶ月も引き伸ばし、召集と同時に国会解散・総選挙に打って出て、森友問題をウヤムヤにしようとした。

野党の立憲民主、共産、希望、自由、社民、維新の6党は



3月19日参議院予算委員会
辰巳議員が質問

市民と結束して追及を続け、「破棄」したはずの決裁文書を国会に提出させました。しかし、3月2日朝日新聞が「文書は改ざんされている」と報道してから事態は急転し、頑なに否定していた政府・財務省も強い国民の声と行動に、改ざん前の文書を明らかにしました。

「公文書改ざん・森友問題解明」の参議院予算委員会が19日開かれ、野党は「首相の辞める発言を擁護するため、改ざんが行われた」「森友学園名誉校長であった、昭恵首相夫人に係わる内容を一切削除した」など厳しく追及し、佐川元理財局長・昭恵夫人等の証人喚問を要求し

ました。また、野党6党は労働者の残業時間を自由化する、裁量労働制(案)も削除させました。報道機関が行った世論調査では、日本テレビ・内閣支持率30%、不支持53%、麻生財務大臣の辞任が必要61%。朝日新聞・支持率31%、不支持48%。毎日新聞・支持率33%、不支持47%と軒並み不支持が大幅に上回っています。

国家機密法、戦争法、共謀罪など次々と国民の権利を規制する悪法を、強権で成立させてきた安倍内閣に対して、大きな批判の声が湧き上がっています。野党と市民は一体となって、真相を究明し安倍内閣を退陣に追い込みましょう。

文芸欄

読者の皆さまからの投稿を掲載します。俳句、短歌、川柳、詩などお待ちしています。

介護する
女子会も
種蒔を

人の試され
居酒屋風の
告げる雪形
爺が岳



「メタ認知」、平昌オリンピック後の報道で目に付いた言葉だ。羽生結弦選手や小平奈緒選手など活躍した選手たちはこの「メタ認知能力」が優れているという。広辞苑では「自分自分の心の働きを制御すること」とある。平たく言えば、自分自身の考えや行動を客観的に見られる力という言葉らしい。確かに羽生選手は、自分の体の状態と能力そして置かれている立場をしつかり認識して行動できたことが金メダルにつながったと思われる。▼さて問題は安倍首相である。彼にはこの「メタ認知能力」はあるのだろうか。森友・加計学園問題、厚労省のデータ捏造問題など官僚が首相の意向を付度したことからはじまっている。民主主義を知らず政治を私物化している首相、そしてこれを否といえず付度する官僚、正に自分のはたすべき役割や行動を全く認知していないのではないか。▼「メタ認知能力」のない首相を抱える内閣、野党共闘の力で今すぐ倒したい。